

放課後等デイサービスサンケアキッズ  
における自己評価結果(公表)

公表年月日 令和5年3月1日

|              |    | チェック項目  | はい | どちらとも<br>いえない | いいえ | 改善目標・工夫している点など   |
|--------------|----|---|----|---------------|-----|--|
| 環境・体制整備      | 1  | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である   | ○  |               |     | 1階と2階それぞれ活動ができるスペースが広くとってあり過ごしやすくなっている   |
|              | 2  | 職員の配置数は適切である  | ○  |               |     | 適切に配置されている   |
|              | 3  | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている                                      | ○  |               |     | 玄関の一部に段差があるが、そのほかは段差がない構造になっている。   |
| 業務改善         | 4  | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している                           | ○  |               |     | 定期的に会議を実施し、課題や目標についてPDCAサイクルにより職員全体で振り返り検討している。                                    |
|              | 5  | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている                | ○  |               |     | 評価結果に基づき業務改善につなげている。   |
|              | 6  | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している                                      | ○  |               |     | ホームページに掲載している。   |
|              | 7  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている  |    | ○             |     | 現在第三者等による評価は行っていない。  |
|              | 8  | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している   | ○  |               |     | 毎月、及び適宜研修を実施し、外部研修にも積極的に参加している。  |
| 適切な支援の提供     | 9  | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している            | ○  |               |     | 本人及び、保護者からのアセスメントを行い計画をたてている。  |
|              | 10 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している                            | ○  |               |     | 専用のアセスメントシートを使用している。   |
|              | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っている  | ○  |               |     | 事前に活動プログラムを立案し、細かく精査し、協議を重ね、実行している。  |
|              | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している  | ○  |               |     | 毎回同じ曜日にならないように、同じ参加者にならないように、同じプログラムにならないように協議し、検討し工夫している。季節感のあるプログラムを行えるよう工夫している。 |
|              | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している                                    | ○  |               |     | 平日の短時間で行うことのできる課題、長期休暇や休日の長時間で行うことのできる課題を適宜精査したり、日課の変更に伴う対応方法を検討している。              |
|              | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している                       | ○  |               |     | 個別の課題がなるべく活動のないように沿ってできるように支援している。   |
|              | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している                        | ○  |               |     | 朝礼時にその日行われる支援の内容や役割分担を確認している。  |
|              | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している                   | ○  |               |     | 終礼時に、その日の活動・支援の振り返りを実施している。  |
|              | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている                               | ○  |               |     | 日々の記録を徹底し、情報共有し、支援の改善につなげるように配慮している。   |
|              | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している                             | ○  |               |     | 定期及び随時面談等を行い、計画を立案している。  |
| 関係機関や保護者との連携 | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている  |    | ○             |     | ガイドラインを活用した支援を行うことができるよう検討している   |
|              | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している                     | ○  |               |     | 児童発達支援責任者の参加と、実際に支援を行っている職員に参加を促している。  |
|              | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている | ○  |               |     | 学校との情報共有については、積極的におこなっている。子どもの送迎時の連絡調整についても、状況に応じて適切に行っている。                        |

|              |    |  |   |   |   |   |
|--------------|----|--|---|---|---|---|
| 関係機関や保護者との連携 | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている                                      |   |   |   | 現在は該当の利用者がいないが、利用の希望があれば対応可能な範囲内で対応していく                                   |
|              | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている                         |   | ○ |   | 必要に応じて保育所等と対応について協議していく。  |
|              | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している              |   |   |   | 現在は該当の利用者がいないが、今後該当利用者があれば状況に応じて対応できるようにしていく。                             |
|              | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている                                   | ○ |   |   | 本年度は発達障害アドバイザー派遣事業に参加し、沢山の助言を受けた  |
|              | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある  |   | ○ |   | コロナ禍で交流の機会はなかったが、今後は交流できる機会を増やしていきたい                                      |
|              | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している  | ○ |   |   | 白山市の部会に参画している   |
|              | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている                                 | ○ |   |   | 利用時の状況等、課題についての共通理解を図っている   |
|              | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている                                |   |   | ○ | コロナ禍により、保護者会などの実施を行っていない  |
| 保護者への説明責任等   | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている   | ○ |   |   | 利用開始時、その他随時において必要な項目の説明を行っている。  |
|              | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている                                       | ○ |   |   | 定期的な面談時等に、相談支援を行っている。   |
|              | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している                                   |   |   | ○ | コロナ禍により、保護者会などの実施を行っていない  |
|              | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している             | ○ |   |   | 苦情等に対して、苦情・相談対応マニュアルに沿って、迅速に対応できるよう配慮している。                                |
|              | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している                               | ○ |   |   | ホームページや会報により、子どもや保護者が情報を把握しやすい体制をとっている。連絡や相談が気軽にできるようにLINEでの連絡相談も受け付けている。 |
|              | 35 | 個人情報に十分注意している  | ○ |   |   | 個人ファイル等は保管庫に保管し、廃棄書類はシュレッダーを使用している。                                       |
|              | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている   | ○ |   |   | 絵カードや写真カードを使用する等、状況に応じて配慮している。  |
| 非常時等の対応      | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている   |   |   | ○ | コロナ禍により、地域交流は行っていないが、今後は行っていきたい。  |
|              | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している                                | ○ |   |   | マニュアル等は、職員や保護者に周知し、閲覧できるように配慮している。  |
|              | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている   | ○ |   |   | 災害整備の点検及び訓練を定期的実施している。  |
|              | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている   | ○ |   |   | 研修への参加、対応方法等適切にできるように配慮している。  |
|              | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | ○ |   |   | 現在までに、身体拘束の必要性が生じていないが、その必要がある場合には適切に対応する。                                |
|              | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている   |   | ○ |   | 保護者等からの聞き取りをもとに、必要に応じて対応している。   |
|              | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している  | ○ |   |   | ヒヤリハット、事故報告書はスタッフ間で共有している。  |